

EXHIBIT NO. 64

「一九四五年（昭和二十年）八月九日ソヴェト政府ヨリ日本政府ニ對シ爲サレタル宣言。一九四五

年（昭和二十年）八月九日ブラウダ紙掲載」

Doc 232
日本政府ニ對スルソヴェト政府宣言
八月九日ソヴェト社官主裁米和國聯邦外務人民委員V・M・モロトフハソヴェト政府ヲ代表シテ日本大使佐田氏ヲ招致シ次ノ聲明ヲ爲シ之ヲ日本政府ニ傳達方ヲ彼ニ依頼シタ。

「ヒットラードイツノ敗退、降伏ノ後續戦争ヲ繼續セントスル唯一ノ強國ハ日本ダケデアル。

「日本ハ今年七月二十六日三六國節チアメリカ合衆國、大英帝國及支那ヨリ提出シタル日本軍兵ノ無條件降伏要求ヲ拒絶シタ。斯クテ極東ニ於ケル戦争ノ制停長篇ヲ内容トスル日本政府ノソヴェト聯邦ニ對スル提案ハ一切ノ根據ヲ喪ツテ居ル。

「日本ガ降伏ヲ拒絶シタ事實ヲ考慮シ聯合國ハソヴェト政府ニ對シ日本ノ侵略ニ對スル戦争ニ參加シ斯クテ戦争ヲ終結セシムルニ必要ナ時期ヲ到達シ、犠牲者ノ數ヲ減少セシメ、而シテ世界平和ヲ達スル克復ニ對兵ヲ提出シタ。ソヴェト政府ハ聯合國ノ理想ヲ正當ト認メ聯合國ニ依

P2
Doc 232

リ爲サレタル提議ヲ受諾シ、今年七月二十六日ノ
場合國宣言ニ加入シタ。

一、ソヴイエト政府ハ新カル政策ハ平和ノ専断ヲ
爲メ國民ヲ之以上ノ犠牲ト苦難トヨリ救ヒ、且ツ
ドイツガ無條件降伏ヲ強要シタル後ドイツ國ノ義
リタル如キ危険ト彼類トラ遇ケシムベキ機會ヲ日
本ニ具ヘル唯一ノ道ナリト信ズル。上述ノ根據ニ
基キソヴイエト政府ハ既日即チ八月九日ヨリソヴ
イエト聯邦ガ日本ニ對シ最優厚ニ入ルコトラ認
メル旨ヲ宣言スル。一九四五年（昭和二十年）八
月八日、一

V・Mセロトフハ又佐藤氏ニ對シ東京駐在ソヴ
イエト大使Y・A・マリクハ同時ニソヴイエト政
府ノ本宣言ヲ日本政府ニ手交スルコトラ告ゲタ。
日本大使佐藤氏ハソヴイエト政府ノ宣言ヲ日本
政府ニ傳達スル事ヲ約シタ。

上掲佐藤致蘇俄書附録

本職「V・タルコフ」ハ得英電國語ニ精通シ居
ルモノニシテ前記書類ハ原本ヨリ指定シテ其抄本
ノ正確且ツ眞實ナル保證ナルコトラ茲ニ證明ス。

V・タルコフ（署名）